

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		川崎市中央療育センター（1日）			公表日		2025年 3月 25日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20	10	パーティションで区切り、スペースを仕切りで分かりやすくしケガのないようにしています。	保育室のサイズが違い、狭いと感じる部屋がある。親子日は狭く感じる。パーソナルスペースが確保しづらいです。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	8	職員がマイナスになっているクラスはその日ごとにフォローを調整しています。	障害特性や子どもの状況によっては足りないと思う時があります。また、曜日で職員人数のバラツキがあります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	23	7	クラスによって特性に合わせてパーティションで区切り構造化しています。スケジュールカード等利用し工夫しています。	バスに乗る職員はミーティングに参加できない。パーティションの枚数が足りない。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	25	5	換気をまめに行っています。療育後清掃、消毒を毎日行っています。パーティションや場面に合わせて空間を分けて使用しています。	加湿器へ登ってしまうお子さんもいますが、風邪が流行する時期は必要だと思います。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	22	7	クールダウンするスペースがもう少しあると良いと思いますが、廊下等空いているスペースを有効に活用しています。	部屋が空いていれば使用出来るが、いつも確保してはあげられないです。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	22	8	調整して会議時間を決めています。	勤務時間が違う職員がいるので、会議設定が難しいです。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	28	2	評価の内容を種別化して、全体会で報告し、改善に向けて検討しています。	部屋のスペース等内容によっては、改善が難しい事があります。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	25	5	園長・所長の職員面談、職員会議実施。OJT等で定期的にお話する機会を設けています。	面談はあるが改善までは難しい内容があります。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	24	5		特にご意見が上がっていないと思います。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	27	3	今後研修報告会の機会を作っていきたいと思っています。	所内研修は複数回おこなったが、外部研修は人員的な問題で参加機会が少ないです。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	25	4	3月中に公表し、保護者の方へ周知していきます。	作成中			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	29	0					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	29	0					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	28	1	今年度は日誌の記入・書式の変更、計画の共有、意識づけを行いました。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	25	4					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	27	1					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	9	反省会では、次のステップ等チームで話し合っています。	余裕のない時には、リーダーが一人で作成している場合もあります。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	25	4	固定化しないよう、ミーティングで話し合い、プログラム案をチームで考え、他クラスとの情報交換できるようにしています。	固定化してしまうクラスもあります。			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	29	1	フリーの時間に個別での取り組みも取り入れていく事を推進していきます。	十分に支援が出来ていないクラスがあります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	27	3	打ち合わせが出来るように時間調整をして連携を図っています。	バス当番で、朝打ち合わせできない時が多いです。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	30	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	29	1	改善につながる記録の取り方をクラスごとに工夫しています。	記録はしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	27	2		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	25	3	必要に応じて参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	25	4		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	28	1	訪問支援の職員にも依頼しながら進めていくようにしています。	全員にはおこなえていないと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	28	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	24	2	連携についての研修をおこなっています。訪問をしたり、出向いてもらう等、保護者の要望や職員として必要な情報を共有しています。	実施しているが、広く連携を図る必要があると思います。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	26	2	まだ行ったことはありませんが、あると思います。実施しているが、さらなる参加ができるよう、体制づくりが必要。	実施しているが、全員が外部研修にいけるわけではないです。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	25	10	訪問部・地域支援部の職員が参加しています。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	21	保育園や幼稚園へ通いながら、通園にも参加して頂いているので、日頃から交流が出ています。	コロナから減ってきています。今年度は保育園との交流は実施していません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	28	0	小さな変化も保護者の方に伝えられるようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	26	3	クラス懇談会や個人面談を実施。年長児クラスは先輩ママの話しをしてもらっています。専門職勉強会を開催し支援しています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	28	1	契約会や年度始めにお伝えしています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	30	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	30	0			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	30	0	面談や電話相談等、丁寧に相談を受けるようにしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	26	13	保護者同士で話す機会を設ける等、今後検討して行きます。	兄弟児交流等の支援は行っていません。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	29	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	25	4	おたよりはアプリを利用しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	29	1	全体周知して十分留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	30	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	15	地域のイベントに参加し、中原区役所・高津区役所で作品展を開催し、広く地域へ療育センターをアピールするようにしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21	4	各マニュアルは、年度初めに伝えていますが、周知できていない方もいるので、伝える方法の工夫をして行きます。	各マニュアルが全職員や保護者に徹底されるよう工夫をしています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	29	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	28	2	年度始めの会議や毎月の会議、社内限定のメールで周知しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	30	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	27	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	24	4	安全計画についての説明し周知していきたいと思えます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	29	0	朝礼やボードに掲示し情報を共有していません。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	29	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	26	1			